

C S 導入後の学校運営協議会の内容を説明しました！！

日 時 平成30年8月29日（水）

会 場 広尾町コミュニティセンター

参加者 62名

内 容 ① 教育委員会説明

② 講演 北海道CSアドバイザー櫻井貴志氏（伊達市教育委員会教育部参与）



開会挨拶 笹原教育長



教育委員会説明を聴く参加者

広尾町学校運営協議会規則（案）のポイント__教育委員会管理課長

1 協議会は学校への支援に関して協議する機関です。

2 協議会は承認、意見の申し出、評価を通して学校運営に参画します。

第4条 対象学校の校長は、次の各号に掲げる事項について毎年度基本的な方針を作成し、協議会の承認を得るものとする。

（1）教育課程の編成に関すること

（2）重点教育目標を達成するための学校経営計画（組織編制、学校予算、施設管理及び施設設備等の整備）に関すること

第5条 協議会は、対象学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べることができる。

2 協議会は、第2条に定める趣旨を踏まえ、対象学校の職員の採用その他の任用に関して、教育委員会を経由し、北海道教育委員会に対して意見を述べることができる。

第6条 協議会は、毎年度一回以上、対象学校の運営状況等について評価を行うものとする。

3 協議会は情報提供を通して学校運営への支援・協力を促進します。

第7条 協議会は、対象学校の運営について、地域住民等の理解、協力、参画等が促進されるよう努めるものとする。

今後のスケジュールについて__教育委員会管理課長

平成31年1月に第1回学校運営協議会を立ち上げた後、学校の教育課程の編成、実施、評価、改善に合わせて、年4回の学校運営協議会の【議事】と【熟議】によって各CSの特色が生まれるようなものにしたい。

第1回	【議事】設置、趣旨等の説明	【熟議】地域の目指す子ども像 (教育課程に反映)
↓		
第2回	【議事】教育課程の承認	【熟議】学校・地域の教育環境 (次回の熟議へ)
↓		
第3回	【議事】学校経営計画の承認	【熟議】教育環境のプラス要因を生かし、 マイナス要因を克服する取組 (次回の議事で取組を具体化)
↓		
第4回	【議事】住民の参画、情報提供 (地域学校協働活動)	【熟議】子どもたちの実態 (学校の自己評価の貴重な情報)
↓		
第5回	【議事】学校運営状況の評価	【熟議】地域の目指す子ども像 (教育課程に反映)

☆ 以降、第2回から第5回の内容をサイクル化

《講演》

広尾町の地域と共にある学校づくり

～広尾町におけるコミュニティ・スクール導入に向けて～



講師 櫻井 貴志 氏



CS制度の趣旨を聴く参加者

- ✧ コミュニティスクール（ＣＳ）は学校と地域（保護者）が子どもたちをどんな子どもに育てるのかを話し合う仕組である。
- ✧ 昔の学校と今の学校は違う。グローバル化、保護者・地域の要望などによって様々な役割が学校に課せられている。昔では考えられないような子どもの実態がある。その結果、学校現場では多忙化が進んでいる。
- ✧ その一方で、地域における「つながり」が薄くなり、子育ての不安や悩みを抱え続ける保護者が多くなっている。
- ✧ ＣＳは、地域の方々や保護者が学校運営を応援する仕組であるが、家庭、地域、学校の役割を改めて考える場でもある。ＣＳはそのためのツールであり「設置」が目的ではない。
- ✧ 学校運営協議会には構成員として、ＰＴＡ会長、自治会長は必ず入った方がよい。
- ✧ ＣＳの導入によって情報共有が進むと、保護者地域からの苦情が少なくなる、学力が上がる、いじめや不登校が少なくなるなどの報告がある。
- ✧ 学校の体験学習や教科学習で地域の人の協力を得ている実践がある。仮の話であるが、学校運営協議会の中に学習支援部会を設けて「総合的な学習の時間」での地域学習を地域ぐるみで応援しようということもあり得る。その結果、地域が活性化したり、子どもたちに地域を愛する心が育まれたりして、人材の流失が少なることも考えられる。
- ✧ ある地域では、町内会の避難訓練の参加者が少ないことが話題になり、学校運営協議会の中で、土曜日授業を活用して学校と地域の合同避難訓練を実施することになった。それによって避難訓練への町内会からの参加者が増加したという報告もある。
- ✧ ＣＳを効果的に生かすためには初めから高い目標を目指すのではなく、現状を踏まえた目標を設定して進める方がよい。
- ✧ ＣＳでは学校運営の基本方針を承認してもらうことになるが、学校は、その他にも学習活動や教育環境にかかわる必要な支援について具体的に検討し、学校運営協議会で率直に伝えることができるようにするとよい。
- ✧ ＣＳを導入した成果として、放課後学習、地域見守り隊、地域の先生、合同避難訓練、町内会行事への参加、地域伝統芸能の継承などの実践が報告されている。
- ✧ 改めて、ＣＳは「学校を応援する仕組」「子どもたちを地域みんなで育てていく仕組」「それぞれの役割を再確認する仕組」であることを理解したい。